

第1回

四重奏&ピアノ五重奏コンサート

～室内楽の名曲と室内楽サウンドで聴く協奏曲～

program

W.A.モーツァルト 弦楽四重奏曲第1番 ト長調 K.80「ロディ」

W.A.モーツァルト ピアノ協奏曲第13番 八長調 K.415
ピアノ五重奏 編曲版

J.ブラームス ピアノ五重奏曲 ヘ短調 作品34

CAST 〔山形が繋げた演奏家達〕



Violin

ヤンネ 館野

〔山形交響楽団 第2ヴァイオリン首席奏者〕



Violin

大和 香名子



Viola

幡谷 久仁子



Cello

小川 和久

〔山形交響楽団 チロ首席奏者〕



Piano

小平 圭亮

INFORMATION

日時： 平成 **30** 年 **6** 月 **4** 日 (月)

開演 **19:00** (開場 18:30)

会場： **山形テルサ アプローズ**
(山形テルサ 山形市双葉町1-2-3)

入場券： 〔全席自由〕 一般 前売り： **2500円** 当日： **3000円**

学生 前売り： **1500円** 当日： **2000円**
(大学生以下)

【主催】 四重奏&ピアノ五重奏コンサート 実行委員会
【後援】 山形市、山形市教育委員会、山形新聞・山形放送、富岡本店
【協力】 NPO法人Mプロジェクト、OFFICE AKIRA
【プレイガイド】 富岡本店、山形テルサ
【お問い合わせ】 090-5234-1223 (木村)

PROFILE



Violin ヤンネ 館野 [山形交響楽団 第2ヴァイオリン首席奏者]

5歳でゲーザ・シルヴァイ氏に就きヴァイオリンを始める。1993年よりヘルシンキ音楽院にてシルッカ・クーラ、オルガ・バルホメンコ両氏に師事。1999年秋、シカゴ・ルーズベルト大学に移り森悠子氏に師事。2003年卒業。2008年日本に移り、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者となる。京都市交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団など多数のオーケストラにも第2ヴァイオリン客演首席奏者として出演する。またソリストとして大阪チェンバーオーケストラ、東京エラート室内管弦楽団、山形交響楽団、長岡京室内アンサンブル、東京ユヴェントスフィルハーモニー、京都フィルハーモニー室内合奏団などと共演。現在、祖國フィンランドにてラ・テンペスタ室内管弦楽団の音楽監督兼コンサートマスターを務め、山形の文翔館室内楽シリーズ芸術監督の一人を務めるほか、2017年現在住の横浜にて室内楽グループ・EnsembleMIDORIを結成、自主企画室内楽コンサートシリーズを開始。クラシック音楽に加えアルゼンチンタンゴの演奏も行っている。2018年初ソロCD『Janne Plays Sibelius』をリリース。

Janne Tateno ホームページ : <http://jannetaten.com>



Violin 大和 香名子

山形市出身。山形県立山形西高等学校卒業。山形大学教育学部生涯教育課程音楽文化コースアンサンブル専攻ヴァイオリン専修卒業。大学卒業後、スロバキア・オーストリアに単身短期留学。オーケストラ楽団員である両親の手ほどきによりヴァイオリンを始め、幼少の頃より村川千秋氏の下でアンサンブルを学び、これまでにヴァイオリンを安部敦子、河野芳春、Jela Spitzkova 各氏に師事。2013年オーストリアで開催のインターナショナルサマーアカデミー (ISA) に選抜されデュオで参加。2014年ウィーン夏期国際音楽セミナー参加、修了コンサート出演。2015年オーストリアで開催の Allegro Vivo Summer Academy 参加。2004年より演奏活動開始し、室内楽コンサートやオーケストラ、スクールコンサートなど国内外様々なコンサートに出演。また各種イベントやパーティー等、様々なシーンでの演奏でヴァイオリンの魅力を伝える活動も展開。亀の井酒造「くどき上手」CM出演中。



Viola 幡谷 久仁子

東京芸術大学、同大学院修士課程を修了後、ドイツ・ハノーファーに留学する。大学在学中よりバロック・ヴィオラでの演奏も始め、現在室内楽や古楽アンサンブルを中心に活躍中。ヴィオラを菅沼準二、Hatto Beyerle、故浅妻文樹、バロック・ヴィオラを森田芳子各氏に師事。クラシカル・プレイヤーズ東京、東京パッサンアンサンブルに所属。



Cello 小川 和久 [山形交響楽団 チェロ首席奏者]

11歳よりチェロを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業し、フランス国立ボルドー音楽院へ留学。高等科、室内楽科、現代音楽科、研究科を首席で卒業し、ボルドー市栄誉賞を受賞した。2000年には第4回「若手奏者のためのコンペティション」(現・名古屋国際音楽コンクール) ソロ部門にて優勝。最優秀者賞、朝日新聞社賞も併せて受賞。国立ボルドーオペラ座、ラムルー管弦楽団と特別契約を結び共演したほか、現代音楽グループ「Csellox TACLOA」を結成し、フランス、スペインを中心に演奏活動を行い、多数のコンgresにも参加。アンサンブル・インストゥルメンタル・ドゥ・コルス(コルシカ)の首席奏者を務め、2011年4月から山形交響楽団の首席奏者に就任したほか、プレジャス・カルテット、チェロクワトリオ・カンターナ、長岡京室内アンサンブル、山形チェンバーミュージシャンズなど、ソロ、室内楽でも幅広く活躍している。これまでに千本博愛、Etienne PECLARDの各氏に師事。



Piano 小平 圭亮

宮城県仙台市出身。山形大学大学院修了。第13回大阪国際音楽コンクール第3位、第2回東京ピアノコンクール第4位、第55回全東北ピアノコンクール第1位ならびに文部科学大臣賞受賞、優勝者記念コンサート出演。第18回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選、第28回日本ピアノ教育連盟E部門奨励賞など、幼少より数々のコンクールで入賞を果たす。2012年フランスにて行われた Musical Summer International Festival & Masterclasses 「Moulin d'Andé」に招待され、ティナ・ヨッフ氏より指導を受ける。帰国後、京都国際音楽祭に招待される。また2014年、ドイツにて行われた「Internationale Musikakademie München」 「Wasserburger Klaviersommer」にそれぞれ参加し、ミハエル・シェーファー、トーマス・ベックラー、クラウス・カフマンの各氏より指導を受ける。同修了演奏会に出演し、ディプロマ取得。2014年1月に自身初となるソロリサイタルを山形文翔館にて開催。また同年4月にはトリオリサイタル「緑」を開催。また、「Tanto giorda Opera」、「Traum stimme」コンサートにて、「椿姫」、「リゴレット」、「ラ・ボエーム」、「電話」のピアニスト、他に「ドン・ジョヴァンニ」、「こうもり」など、数多くのオペラピアニストを務める。山形市民合同音楽祭においては「カルミナ・ブラーナ」のピアニストを務めるなど、仙台、山形を中心に、リサイタル、オペラ、室内楽、合唱など、数々の演奏会に出演し、活動している。これまでにピアノを阿部ゆか、赤城真理、中畑淳、伊達華子の各氏に師事。